



歴史クイズを盛り込んだウオーキング事業。写真は竹原市公衛協が実施した、一万人的エコチェック事業では、推進員に配布している手帖やファスナーケースを参考に(中)、平成二十一年度を実施した事務局活性化事業合同研修会(下)指す。

公衛協の力量形成、行政との協働を視点を

平成22年度地域活動支援センター事業概要

新規事業に

「公衛協発ウオーキング」 「二万人のエコチェック」

地域活動支援センターは、環保協の公益事業部門として創設以来、公衆衛生推進協議会(以下、公衛協)を主としたコミュニティにおける環境づくり、健康づくりの支援に取り組んできた。環保協のミッションである「総合的環境保健のまちづくりを実現するためのライフスタイルづくり・人財づくり」の達成に向けて、平成二十二年度は、以下の三つの視点で事業を推進していく。①公衛協の力量形成による活性化②平成二十一年度より開始した「市町公衛協事務局活性化事業」を中心に、公衛協活動の中枢を担う事務局機能の強化を図ることによる公衛協の力量形成。③行政との協働体制の拡充④環保協の

原点である公衛協の支援を通じて、適切なコミュニティづくりを拡充するため、行政とのパートナーシップ構築を目的に、各種計画の策定等を通じて、協働体制の強化・拡充を図る。③低炭素社会の実現に向けた、脱温暖化のまちづくりの推進④センターの脱温暖化部門として、脱温暖化センターひろしまを運営し、「地球温暖化対策地域協議会」「地球温暖化防止活動推進員」の支援・育成を通じて、「コミュニティを基盤とした脱温暖化を推進できる体制を築いていく」。

また、公衛協共通事業の重点メニューに新規事業二つを加え、新たな視点で地域の健康づくり、環境づくりを推進していく。以下それらの新規事業および市町公衛協事務局活性化事業の実施計画を紹介する。

なお、事業の詳細については、四月二十七日に開催する第一回公衛協事務担当者会議で説明を行う予定。

全県共通事業重点メニュー
①公衛協発ウオーキング事業
歩くことの習慣化を目的に、公衛協主催のウオーキング事業を実施。既存事業で実施している公衛協は、これを機に重点メニューとして推進。また、新たに取り組む場合は、ウオーキングに「環境」の視点を加え、ルートの中に環境状況が気になる空間(水辺教室の開催地、アドプトN E Tひろしま実施区域、不法投棄の監視地点など)を設定し、人間の五感(視・聴・嗅・味・触)を活かして環境点検を行うという趣旨。実施公衛協には、PR用のベストや腕章の貸出しを行うこととし、この事業をきっかけに健康づくり活動に取り組む公衛協の拡充を目指す。

全県共通事業重点メニュー
②一人のエコチェック事業
県内の公衆衛生推進委員約一万人を中心に、九月の一月間を環境家計簿強化月間とし、家庭の省エネ行動の実践を行い、主に「電気」「ガス」の昨年同月比でエネルギー使用量の把握・評価を行う。活

動によるエネルギー削減効果を数値的に「見える化」することで、低炭素社会の実現に向けて、具体的かつ効果的な活動を着実に展開する基盤づくりを行っていく。全県での実施結果については、十一月開催の県大会の席上で報告を行う予定。

世羅町と廿日市市で事務局活性化

市町公衛協事務局活性化事業

公衛協選出の事務局員一人の人的費用の助成(二年間限定)、また、事務局員および機能リーダーの力量形成のための各種研修会を通して、事務局機能の強化・活性化を図る事業。平成二十二年度は、新たに世羅町、廿日市市の実施が決定した。

世羅町では、近年特に力を入れる脱温暖化のまちづくりに取り組みうえて、より一層の事務局強化が必要となっていた。今年度から、事務局員

一人、機能リーダー一人を養成。研修への参加や企画の実践、公衛協事業で発生する事務処理を行っていく中で、必要な知識・技術の習得を目指す。

廿日市市では、公衛協の発展のために、企画づくりやその運営で力を発揮できる事務局員の確保のため、今回事業へ申請。環境問題に熱心に取り組む人材を事務局員として新たに雇用する。公衛協が主催する各種事業に積極的に関わっていく中で、公衛協に関する理解を深めてもらい、組

織全体の活性化に繋げることが目指す。

江田島市・大竹市は、継続により二年目となる。江田島市においては、今年度新たに機能リーダーを増員して育成していく。今後、規約の改正や公衛協活動の拠点(場所)の発掘などを行い、行政との協働体制を築きながら、自立した組織づくりに取り組む。

同じく、継続となる大竹市は、今年度、推進委員や協力委員の知識習得を図ることを目的に、ごみの分別に関する講座の開催を行う。この中で公衛協のリーダーとなり得る人材の発掘もねらいの一つとして、今後の公衛協の活性化につなげていく。

このように、現時点(三月末)で四市町公衛協の実施が決定している。これに加えて尾道市公衛協では、五月一日付雇用に向け人選を行っているほか、平成二十三年度の申請に向けて、いくつかの市町公衛協が検討を進めている。(地域活動支援センター)

平成22年度 地域活動支援センター主な行事予定

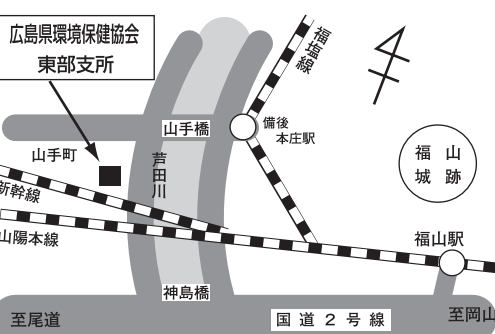
- 4月 27日(火)・・・公衛協事務担当者会議①
- 6月 23日(水)・・・代表者会議定例会・募金委員会①
- 7月 8日(木)～9日(金)・・・第49回環境保健夏季大学
- 8月 26日(木)・・・代表者会議専門部会①
- 9月 28日(火)・・・公衛協事務担当者会議②
- 11月 9日(火)・・・第51回広島県公衆衛生大会<in三原市>
- 25日(木)・・・代表者会議専門部会②
- 1月 25日(火)・・・代表者会議定例会・募金委員会②
- 3月 15日(火)・・・公衛協ブロック会議<福山・尾三>
- 16日(水)・・・公衛協ブロック会議<北部>
- 17日(木)・・・公衛協ブロック会議<西部・呉>

- 公衛協活動研究セミナーIN北部<庄原市七塚原>
4/20、5/18、6/15、7/20、9/21-22、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15
- 公衛協活動研究セミナーIN東部<環保協東部支所>
5/7、7/16、10/8、1/21
- 地球温暖化防止活動推進員新規養成研修
<北部会場>前期6/29～30、10/14
<東部会場>前期7/29～30、11/18
<西部会場>前期9/4～5、12/22
- 第14回地域保健全国大会<in新潟市>11/2

その他の研修など



東部地区の検査受付は、支所でも行います!



食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など
【受付時間】月曜日から木曜日 8:30～17:30

財団法人 広島県環境保健協会
東 部 支 所
〒720-0092 福山市山手町5-32-26
TEL 084-952-0007
FAX 084-952-0009